

会 議 記 録 (1)

会議名称	令和5年度 第1回北本市社会教育委員の会議
開会及び閉会日時	令和5年5月31日(水) 午後2時00分開会、午後2時55分閉会
開催場所	北本市役所 会議室3-F
議長氏名	佐藤 豊明
出席委員(者)氏名	大橋 浩、井原 清子、佐藤 豊明、小野 純子、森川 和代、 阪井 栄見子、小澤 理絵、大竹 達也、佐野 吉弘、 眞下 美佐子、大芦 進
欠席委員(者)氏名	熊倉 秀幸、樋田 雪江、岩田 俊子、大野 弥生子
説明者の職氏名	生涯学習課 主幹 堀内 尚徳 主任 金子 浩章
事務局職員職氏名	教育部長 草野 智広 生涯学習課課長 櫻井 猛博、主幹 堀内 尚徳、主任 金子 浩章 主任 南 百合絵
会議次第	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 挨拶 3 議事 <ol style="list-style-type: none"> (1) 令和4年度北本市社会教育事業報告について(報告) (2) 令和5年度北本市社会教育事業計画(案)について(協議) (3) 附属機関等委員について(協議) (4) 社会教育関係団体への補助金について(協議) (5) 第四次北本市生涯学習推進計画(案)について(協議) (6) その他 4 閉会
配布資料	<p>【資料 1】 令和4年度北本市社会教育事業報告</p> <p>【資料 2】 令和4年度市民大学きたもと学苑実績報告</p> <p>【資料 3】 令和4年度公民館等・図書館利用状況一覧表</p> <p>【資料 4】 令和5年度北本市社会教育事業計画(案)</p> <p>【資料 5】 附属機関等委員一覧表</p> <p>【資料 6】 社会教育関係団体への補助金について</p> <p>【資料 7】 第四次北本市生涯学習推進計画(案)</p> <p>【別添資料 1】 社会教育関係団体事業報告・収支決算書等</p> <p>【別添資料 2】 令和5年度北本市教育行政の重点施策</p> <p>【配布】</p> <p>・北本婦人会発行広報誌『北本市婦人会だより』</p>

会 議 記 録 (2)

発 言 者	発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
	1 開会
司会	(略)
	2 挨拶
草野部長	(略)
事務局	この後の議事進行は、佐藤委員長にお願いする。
	3 議事
	(1) 令和4年度北本市社会教育事業報告
事務局	資料1～3に基づき説明。
議長	質問等はあるか。
大竹委員	放課後子ども教室について、「共通プログラム」とは、学童と連携し
	ている認識でよいか。
事務局	学童（放課後児童クラブ：厚生労働省管轄）と放課後子ども教室（文部
	科学省管轄）の「一体型」事業である。
	(2) 令和5年度北本市社会教育事業計画（案）について
事務局	資料4に基づき説明。
議長	意見・質問等はあるか。
井原委員	「市民大学きたもと学苑」について、近隣自治体と比較すると充実してい
	ると感じるが、工夫している点を教えていただきたい。
事務局	本市は平成初期から生涯学習への取組が活発で、過去に中央公民館が県
	や国から優良公民館表彰を受けてきた経緯がある。行政側が主導せず、
	それぞれのグループで活躍された市民が指導者（市民教授）となり、企
	画書をいただいた上で講座を開催していくのが特徴である。
事務局	今年度資格取得講座(MOSなど)の開設について、取得の難易度と講座内
	容のバランス等を含め、生涯学習担当で検討している。資格取得講座は
	受講者、指導者双方やりがいを感じられるのではないかと考えている。

会 議 記 録 (3)

発 言 者	発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
阪井委員	放課後子ども教室について、登録児童数が各校で差があるのはなぜか。
事務局	次の3点において各校で差があることが考えられる。①学校規模 ②校舎内「放課後子ども教室」として利用可能な教室 ③ スタッフ体制における受入児童数
井原委員	北小は昨年度1年生の半分が学童に行っている実態から、申込自体が少なくなっていると考えられる。
阪井委員	放課後子ども教室におけるプログラム(共通目標等)は、話し合っているのか。
事務局	コーディネーター会議、スタッフ会議等を通して協議等行い、共通理解をしている。
議長	放課後子ども教室が終わってから学童へ行く児童数の割合は。
井原委員	北小は16名中5名である。兄姉も(放課後子ども教室へ)通っている児童が多い。児童は予め(スタッフ会議等で)決まったプログラムで活動している。
森川委員	市民大学について「書道」の資格取得講座を検討、実現してほしい。過去開設しかけていたが、監査上実現できなかったことがあった。また、講座内容についても充実(レベルアップ)を図ってほしい。
眞下委員	市民大学(以下「キタガク」)設立初期の頃は、キャリアアップを含め目的別にコースを分けてみたものの、受講年齢層の大部分が60代以上ということもあり、事務局としても運営が難しくなった。県民活動センターは県で運営しているが、キタガクは受講生及び市民教授から(運営費を)徴収して運営している。キタガクは「みんなが主役」であることを一番大切にしており、他自治体にはないものになっている。17年目を迎え「キャリアアップ講座や本市独自のものを創出するなど運営方法等を変えていかなければならない」と総会の反省点として出ているので、これから検討していきたい。
事務局	森川委員、眞下委員の意見を尊重し、キャリアアップ目的だけでなく

会 議 記 録 (4)

発 言 者	発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
	「社会との繋がり」「外出のきっかけづくり」「趣味の一環」など受講希望者の様々な目的への対応についても検討したい。
	(3) 附属機関等委員について (協議)
事務局	資料5に基づいて説明。
議長	北本市青少年問題協議会、北本市図書館協議会、北本市公共施設等総合管理計画推進審議会の委員選出について意見はあるか。
委員一同	なし。
議長	事務局として意見はあるか。
事務局	北本市青少年問題協議会委員に小澤委員、北本市図書館協議会委員に大野委員、北本市公共施設等総合管理計画推進審議会委員に岩田委員3名の再任をそれぞれ推薦する。
委員一同	了承。
	(4) 社会教育団体の補助金について (協議)
事務局	資料6及び別添資料1に基づいて説明。
議長	意見や質問等あるか。
委員一同	なし。
	(5) 第四次北本市生涯学習推進計画(案)について
事務局	資料7に基づいて説明。
議長	意見や質問等あるか。
委員一同	なし。
	(6) その他について
議長	その他あるか。
森川委員	今年度の市民文化祭について、今年度は県芸術文化祭協賛事業へ申込を

会 議 記 録 (5)

発 言 者	発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
	予定している。
事務局	申込期日は事業開催1か月前である。承認をいただければ、名義の使用、知事賞等賞状の交付、県ホームページへの事業掲載が可能となる。
	4 閉会
小野委員	(略)
	議事の内容・概要を記載し、その相違なきを証するためここに署名する。 令和 5 年 6 月 13 日 委員長(会長) 佐藤豊明